



安産大学

歴史に学ぶ
乳母と産湯

はでのか
天皇山
天北
武賀
神佐
生まれ

しおいがわ
乳母神社と神水川

昔、北山は「御室」、神水川は
「飛鳥川」と呼ばれていた





乳母神社(祭神 玉依姫命・大海祇命)

玉依姫命は初代 神武天皇の母親、
日本で最初の乳母(ウヰキベディア)、安産と育児の神様

昭和20年3月12日、私は佐賀市富士町下無津呂の実家の「風呂場」で生まれました。父・環(たまき)は戦前、長崎の出島(ドイツ領事館跡地)で産婦人科を開業していましたが、戦争が激しくなり、昭和19年に病院を閉じて、郷里の北山に疎開しました。そこで生まれたのが私です。長崎で生まれた兄たちは、「史郎は、乳母神社のそばを流れる神水川(しおいがわ)を流れてきたのを俺が見つけて、助けてあげたんだ」と私をからかいました。びっくりして母(みわ)に聞くと、「私があなたを産んだのよ」と言っ、私を産んだ場所に連れて行ってくれました。そこは風呂場でした。

父は戦後(昭和23年)、唐津市で産婦人科を開業しました。開業医の息子である私は、小学生のころから分娩室から聞こえてくる「悲鳴」を聞いて育ちました。私は8人兄弟の7番目でしたが、母から「お産は何人産んでも痛かった」と聞かされていたので、医学部を卒業すると、産婦人科ではなく、迷わず痛みを取るための麻酔科に入りました。私は、そこで手術中の体温管理の重要性を学び、手術後の「低体温症」に関心を持つようになりました。術後の合併症は、低体温症の患者さんに多かったからです。産科医になる前に麻酔科を選択したことで、私の医者人生は他の産科医と大きく異なるものになりました。学会では激しいヤジの中で発表したことも、度々ありました。しかし、開業34年間で約16,000人のお産に立ち会って、医療事故は「例もありませんでした。麻酔科で学んだことから導き出した久保田式の「正常をより正常に」の医療理念が功を奏したのです。

閉院(2017年)後は、久保田式の「安産のための設計図」を普及させるために佐賀で「安産大学」開講の準備を始めました。なぜ佐賀か。それは、佐賀が変わらなければ日本のお産はよくならないからです。日本のお産の歴史は、佐賀北山から始まりました。私の生まれた実家のすぐそばにある「乳母(めのと)」神社から始まったのです。これまでの調査で、初代の天皇である神武天皇は、私と同じ、佐賀北山下無津呂堂園のお生まれと言う事がわかってきました。この小さな本は、みなさんにそのことをお伝えするために作られました。

その昔、神武天皇がお生まれになった頃のお産は、出産経験のある「乳母(めのと)」が行っていたのではないだろうか、と私は考えています。現代のように暖房機器がない時代には、乳母が出産直後の赤ちゃんを「産湯」に入れ、体温が下がるのを防いでいたと思われます。乳母の役割は、生まれた赤ちゃんを産湯に入れ、いつでもお乳を飲ませられるように、昔の産婆と同じような仕事をしていたに違いありません。乳母は、赤ちゃんが元気に育つためには、産湯に入れ、低体温症を防ぐことの大切さを

知っていたのです。私が生まれる時、父が私を風呂場で産ませたのは、お風呂のお湯をシュンシュン沸かして浴室の温度を上げ、低体温症を防ぐためだったのです。

私が産婦人科医になってからの主な研究は、赤ちゃんの体温調節に関する研究になりました。温かい子宮内（38度）から寒い分娩室（25度）に生まれた赤ちゃんはどのような仕組みで体温を37度に維持するのか。その体温調節に関する研究が認められ、開業して6年目の平成元年に九州大学から医学博士号を授与されました。私は、世界のすべての赤ちゃんが元気に育つように、佐賀北山から久保田式の「温めるケア」をひろめるための活動をはじめました。その幕開けが令和2年2月29日、佐賀から始まる『安産大学』の講座です。皆様とお会いするのを楽しみにしています。

令和2年2月11日

「安産大学の開講をお祝いして」

「安産大学」が佐賀県から発信されますことを心からお祝い申し上げます。

久保田史郎先生より1500年前からの富士町(旧北山)の歴史をお聞きし下無津呂の「乳母神社」、上無津呂の「淀姫神社」、栗並の「子安神社」に参拝して、一つ一つの事柄、成り立ちを今に伝えることの重大さを思うとき、私は胸の高鳴りと感動の嵐が舞い降りたように思いました。

女性たちが次代を担う人材の育成や少子化を真剣に考える時になっています。現状では、日本全体が高齢化し、子どもたちの姿が見えなくなっています。子どもは国の宝です。その子どもたちを産み育てていくのは女性にしかできません…。男女共同参画社会づくりの中で、男性が「妊婦さんの気持ちになって…」行動している姿がありました。体内に命を宿して10ヶ月もの間、温かい成長を見守る姿は女性だけが体験できる大きな喜びでもあります。

私は、教育現場に長くいますので、多くの子どもたちを見守ってきました。その中で年々多くなったのが「発達障害」と言われる子どもたちです。私が子どもの頃はあまりいなかったように記憶しています。この件につきましても、久保田先生のお話を聞いて「なるほど…」と思えました。歴史は形を変えて、次代にレガシー（遺産）を残し、爪痕があれば解明出来るのです。

佐賀県から全国に向けて、そして世界に発信される、これからの「安産大学」開講をお祝いし楽しみ、歴史を語りながら、老若男女の皆さんが、少子・高齢化を真剣に考えていくことが大切です。一人でも多くの人々に「安産大学」が伝えられますことを心から念じています。

佐賀県レクリエーション協会理事長

佐賀県翼の会会長

江口 英子

2019年10月、初代天皇である神武天皇の母親、玉依姫(たまよりひめ)の銅鏡が、佐賀市富士町下無津呂地区にある「乳母(めのと)神社」で見つかりました。この発見により、神武天皇が富士町のお生まれである可能性が出てきました。発見者であり、「乳母神社」の氏子として神社を守る活動をされている、産科医の久保田史郎先生にお話を伺いました。

Q

久保田先生は、この大発見以前から、乳母神社の周辺についていろいろ調べていらっしやっただけですか。そのきっかけは何だったのでしょうか？

A

私の祖父が、佐賀市富士町下無津呂で内科医を、父は戦前、長崎の出島にあるシーボルトのドイツ領事館跡で産婦人科医をしていました。兄や姉たちは長崎で生まれ、私が生まれるとき、家族で下無津呂へ疎開してきました。我が家のすぐそばに「乳母神社」がありました。子どものころ、私たち兄弟や地元の人たちは「乳母(めのと)神社」ではなく「みようとじんじや」と呼んでいました。ですから、てっきり「夫婦(めおと)神社」だと思っていました。でも、6年前に『乳母(めのと)神社』だと知ったとき、私は、自分が長年続けてきた産科医としての研究との偶然の一致に驚きましたよ。「乳母神社」に祀られる玉依姫は、神武天皇の父であるウガヤフキアエズ(みこと)の乳母として対馬から派遣され、のちに彼の妻となって神武天皇を産みました。ですから、玉依姫は記録に残る日本で最初の乳母ということになります。私は、産科医開業以来、母親の母乳が充分に出るようになるまでは、母乳分泌の不足分を人工ミルクで補うように指導してきました。それによって、私の医院では、脳に障害を残す低血糖症と重症黄疸の赤ちゃんが出なくなりました。「乳母」の役割はまさにそれで、今のように粉ミルクがなかった時代には、母乳の出の悪さは乳児の生育に直接悪い影響を及ぼし、命にも関わったため、皇族、貴族、武家などの豊かな家の場合、母親に代わって乳を与える「乳母」を召し使ったのです。私のこのライフワークと「乳母神社」に祀られている玉依姫の役割との偶然の一致が、この神社に注目するきっかけになりました。



③乳母神社



④淀姫神社

A
 Q
 「乳母神社」について調べ始めて、どんなことがわかってきたのですか？
 まずは、神武天皇の母、玉依姫を祭神とする「乳母神社」と玉依姫の姉、
 豊玉姫（よたまひめ）を祭神とする「淀姫（よどひめ）神社」が、富士町の
 同じ無津呂地区にあることに着目しました。玉依姫と豊玉姫は、生誕地
 とされる対馬から海を渡ってきたと考えられます。「乳母神社」と「淀姫
 神社」の神殿に海藻が祀ってあるのは、神武天皇の母親と伯母である二人
 が海神、つまり対馬出身であることの証です。「淀姫神社」には、対馬産
 の馬「対州馬」の石像もあるんですよ。



長崎市出島町 久保田産婦人科
 WR 和七 辰 四月 廿日

①出島にあったときの久保田産婦人科



②乳母神社



⑤海藻(乳母神社)



⑥対州馬の石造(淀姫神社)

豊玉姫と玉依姫は、どうして対馬から海を渡ってきたんですか？

A

『古事記』によると、失くした釣り針を探しに海神の宮殿へ行った山幸彦(やまさちひこ)は、そこで海神、綿津見(わたつみ)の娘である豊玉姫と出会い、結婚します。海神の宮殿というのが、対馬にある「和多都美(わだつみ)神社」です。二人に子どもができたとき、豊玉姫が「天つ神の御子を海の宮殿で産むわけにはいきません」と言って地上にやってきて、浜辺に産屋を建てました。糸島の「御床(みどこ)」という地名は、ここに産屋を建てたことから、御床(お産用ベッド)と名付けられたのではないのでしょうか。ちなみに、山幸彦と豊玉姫の子「ウガヤフキアエズ」の名前は、彼が生まれたとき、その産屋がまだ鶉の羽根で屋根を葺き終わっていなかったことから名付けられたそうですよ。おもしろいですね。糸島の御床(みどこ)には、山幸彦と豊玉姫を祀った

「志登(しと)神社」があります。



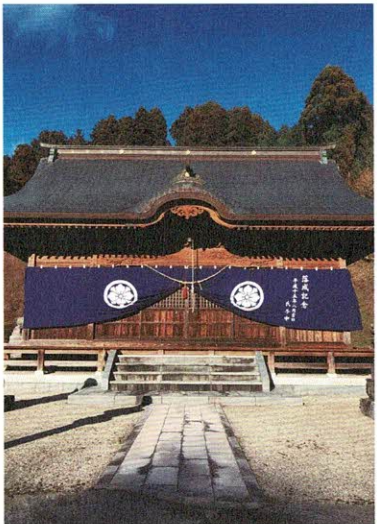
⑦和多都美神社



⑧志登神社

Q では、山幸彦と豊玉姫は、糸島からなぜ佐賀にやってきたんでしょう？

A 神話では、「女は出産のとき、本来の姿に戻ると言われていますから、お産が終わるまで私の姿を見ないでください」と豊玉姫に言われているのに、山幸彦は約束を破って出産中の豊玉姫の姿を見てしまいました。豊玉姫は、大きなワニザメの姿になって子どもを産んでいました。本当の姿を見られてしまった豊玉姫は悲しんで、綿津見の宮殿へ帰ってしまったとされています。でも、私は、出産後すぐに豊玉姫が対馬に帰ってしまったとは考えられないんです。豊玉姫を祭神とする「淀姫神社」が、1500年以上も前から佐賀市富士町上無津呂にあるからです。山幸彦と豊玉姫は、海のそばの糸島で子どもを育てるのは危険と考えたんだと思います。それで二人は、佐賀富士町北山の「子安（こやす）神社」にいる山幸彦の母親、コノハナサクヤビメを頼って日向峠と雷山を越え、安全な佐賀富士町北山の「淀姫神社」で子育てを始めたんです。



⑨子安神社

Q 玉依姫は、神武天皇の父親、ウガヤフキアエズの乳母として、いつ佐賀にやってくるのでしょうか？

A 豊玉姫がお産で対馬を離れて以来、対馬の治安が悪くなっていきました。対馬の富と権力を司っていた豊玉姫は、対馬が心配になり、故郷を



⑪玉依姫の銅鏡



⑩銅鏡を太陽に向かって当てると“光”が

産宮神社

御祭神 奈留多姫命 玉依姫命
彦波瀲武鸕草葺不合尊

例祭日 二月二十日 百手の射神事
毎月二十五日 安産祈願祭

略縁起
御祭神奈留多姫命は御農社に当り
祖神をお祀りし月清く生まれん
子願正れば多く以て萬世産婦の
守護神となんと仰せられて無事
皇子を安産された由、以降産宮と
称え安産守護の神様として広く崇

⑫産宮神社と乳母神社は親子関係



⑫産宮神社

守るために夫と子どもを残して対馬に帰ります。それで、豊玉姫は妹の玉依姫に自分の子どもの養育を命じたのです。玉依姫は、無事に姉の子ども(神武天皇の父、ウガヤフキアエズ)を育て上げたことから、日本で最初の「乳母」と言われているんです。玉依姫はその後、立派に成長した甥のウガヤフキアエズと結婚し、神武天皇を出産します。その舞台が「乳母神社」ではないか、ということなんです。この10月に「乳母神社」で玉依姫の銅鏡が見つかったのがその証である、と。さらに、神武天皇の子どもである綏靖(すいせい)天皇を探したところ、綏靖(すいせい)天皇の母親(神武天皇の妻)である奈留多姫(なるたひめ)を祀った産宮(うぶみや)の「みや」神社が、富士町からわずか20キロほどの糸島市波多江(はたえ)にあることがわかりました。どう考えても、神武天皇がこの辺りにいらっしやっただとしか思えませんよね。

今回の銅鏡発見以外にも、何か見つかりましたか？

今年(2019年)の8月、玉依姫を祀る富士町の「乳母神社」の神殿に天皇家の十六菊花紋章が見つかりました。そして、9月に、豊玉姫と玉依姫の生誕地とされる対馬の「和多都美(わだつみ)神社」^⑭に行き、その神殿で「乳母神社」と同じ天皇家の十六菊花紋章を見たのです。神殿の正面に3つ、側面に2つずつ、天皇家の紋章がありました。また、豊玉姫を祭神とする富士町上無津呂の「淀姫神社」^⑮と神武天皇の妻奈留多姫命を祭神とする糸島波多江の「産宮神社」^⑯にも、宮家の十三菊花紋章があります。対馬の「和多都美神社」、富士町下無津呂の「乳母神社」、上無津呂の「淀姫神社」、そして、糸島の「産宮神社」は、天皇家と深い関わりがあるのです。平成天皇が即位された翌年の平成2年、ご夫妻のはじめての旅行地として対馬の「和多都美神社」が選ばれたことが、それを裏付けています。



平成二年五月二十一日対馬空港に降りられる直前、お迎えの皆様に向けて御手を上げて下さっている。各南方の島の紅葉の時の顔とは違って実に表情が明るなお写真です。
〔早田吉夫氏撮影〕 製作 朝タケスエ

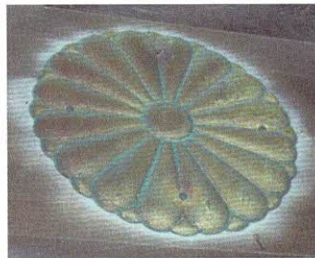
⑰当時の新聞記事



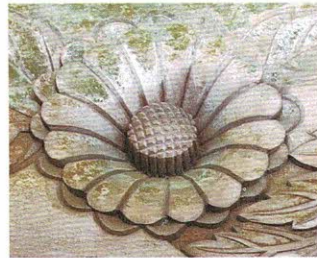
⑯産宮神社 十三菊花紋章



⑮淀姫神社 十三菊花紋章



⑭和多都美神社 十六菊花紋章



⑬乳母神社 十六菊花紋章

Q 2019年9月に続いて、10月にも、久保田先生は対馬の「和多都美神社」に行かれたようですが、何か新しい収穫はありましたか？

A 私たち一行を最初に出迎えてくれたのが、「淀姫神社」に石像のある、対馬の馬「対州馬」でした。体が小さくて、脚は短く、ロバのような馬です。その後、対馬の歴史家、武末裕雄氏（武末裕雄氏）にご紹介いただき、和多都美神社の平山静喜宮司（平山静喜宮司）にお会いしました。宮司から「私は初代から数えて126代目です」と聞いて、和多都美神社の歴史の長さを実感しました。126代というのは、現在の天皇陛下と同じです。この一致も驚きです。よね。拝殿には、天皇家の写真がたくさん飾られています。案内板に、平成天皇がご即位されて最初に訪問したのが和多都美神社だったということも記されていました。



⑱ 武末裕雄氏（右）
和多都美神社にて



⑲ 和多都美神社の平山静喜宮司

Q 天皇家がとても大事にされている神社なんですね。

A そうですね。和多都美神社に向かう途中で『佐賀方面』への道路標識がありました。そこを過ぎると厳原（いづはら）方面の案内が出てきたので、一瞬、佐賀の厳木（ぎゅうらぎ）と勘違いしてしまいましたよ。そんなわけではないんですね、ここは対馬なんです。あとで気になって、



⑳ 対馬に佐賀方面への標識

Q どうしてでしょう？

A 佐賀の人の多くは対馬からの移住者であったと考えられます。対馬から佐賀へ渡ってきて、故郷の地名を付けたのです。同じように、奈良には「北山」、「檜原(かしわら)」、「まなご」、「大野」、「室(むろ)」など、佐賀市富士町北山と同じ地名があります。富士町を「神水(しおい)川」という川が流れています。「神水」とは、神社を清めるための水です。この川のそばに「淀姫神社」、「乳母神社」、「子安神社」がありました。この「神水川」は、かつて「飛鳥²²(あすか)川」と呼ばれていたんですよ。佐賀北山の名前が奈良北山にあるのは偶然でしょうか？



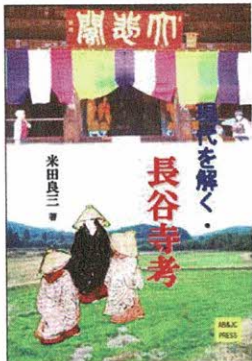
②1 神水川(神武天皇もこの川で水遊びをしていたのかも)



②2 神水川は昔、飛鳥川と呼ばれていた

Q 九州王朝が奈良の大和王朝へ移った、という説ですね？

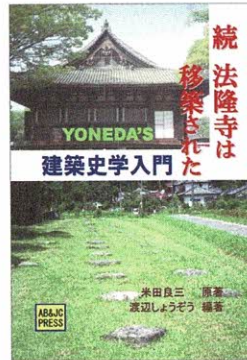
A 神武天皇の東征については『古事記』や『日本書紀』にも記述があります。九州王朝についてはおそらく意図的に記述がないのですが、人や神社は西から東に移動しているんです。奈良の「法隆寺」は大宰府から移築されたと言われています。同じく奈良の「長谷寺」は佐賀の三瀬村



②⑤ 長谷寺考



②④ 室生寺



②③ 続 法隆寺は移築された



②⑦ 和多都美神社の鳥居



②⑥ 厳島神社 (平清盛が和多都美神社を模倣して創建)

から、「室生寺」は佐賀の富士町から移築されたようです。このことは、^{②④}建築家・米田良三氏の著書「長谷寺考」にも記述されています。鳥居が海の中にあることで有名な広島市の「厳島（いつくしま）神社」は、豊玉^{②⑤}姫・玉依姫の実家であり「竜宮城」と呼ばれている対馬の「和多都美神社」をまねて、平清盛が作らせたものだそうですよ。

Q すごい！ 初めて知りました。

A 対馬でお昼においしいアナゴ料理を食べたんですが、そのとき、10年前に広島の厳島神社へ行ったとき食べたアナゴ弁当を思い出しました。私が「広島のアナゴはおいしいですね」と言ったら、お店の方が「これは対馬のアナゴなんですよ」と教えてくれたんです。

Q つながっていますね！

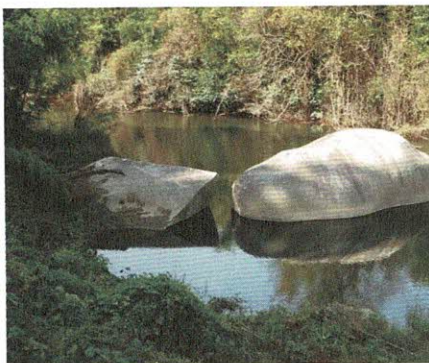
A ²⁸ 富士町の古湯(須田地区)にも「厳島神社」があります。古湯の「厳島神社」がある場所は「御殿(みどの)」と言われていました。糸島に「御床(みどこ)」、「富士町北山に「御室(みむろ)」、古湯に「御殿(みどの)」。このルートには、何かあると思いませんか？ 神武天皇の父、ウガヤフキアエズの命がお生まれになった「御床」、神武天皇がお生まれになった「御室(みむろ)」、そして神武天皇がお育ちになった「御殿」だと私は考えています。ですから、古湯の「厳島神社」は、神武天皇を守るため、対馬の神様を「厳島神社」として創建されたものと考えられます。古湯の「厳島神社」は、広島の「厳島神社」よりもはるか以前に建てられたんですよ。これもまた、人や神社が西から東に移動しているという一つの例です。三重の「伊勢神宮」も、糸島②(かつては伊都志摩だった)がルートではないかと言われています。糸島③の二見ヶ浦にある夫婦岩と伊勢志摩の二見ヶ浦にある夫婦岩はそっくりなんです。「伊勢神宮」の内宮には「子安神社」があるんですが、これは佐賀富士町栗並の「子安神社」が移築されたのかもしれない。山幸彦の母親、コノハナサクヤビメはこの富士町栗並の「子安神社」にいたと推測されるんですからね。富士町④の「子安神社」にも夫婦石がありました。今、夫婦石はダムに沈んでしまいました。

Q 佐賀にも「伊勢神社」がありますけれど、三重の「伊勢神宮」とはどういう関係なんですか？

A ²⁹佐賀市伊勢町にある「伊勢神社」は、「伊勢神宮」の分社として認められた日本で唯一の神社です。唯一ですよ。すごいですね。なぜか。それは、佐賀北山の「子安神社」、「淀姫神社」、「乳母神社」の氏子たちが何度も伊勢神宮へお参りしたからではないでしょうか。実際、佐賀北山の嘉村家・無津呂家の人たちが何度も伊勢に参っていたという資料が残って



②9 糸島の二見ヶ浦にある夫婦岩



③1 富士町の子安神社にあった夫婦石



②8 富士町古湯の厳島神社



③0 伊勢志摩の二見ヶ浦にある夫婦岩

います。佐賀の伊勢神社にも淀姫神社と同じ対馬の石像があるんですよ。入口のドアには十六菊花紋章がありました。



③② 佐賀 伊勢神社 日本で唯一伊勢神宮から分霊を許された「九州のお伊勢さん」



③③ 佐賀 伊勢神社に淀姫神社と同じ対馬馬が



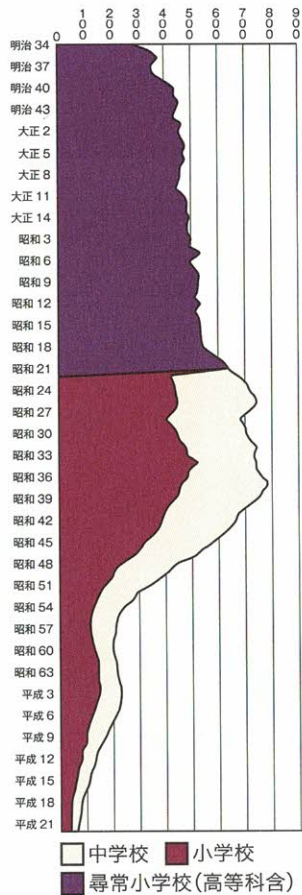
③④ 伊勢神社の入口のドアに十六菊花紋章

Q

久保田先生は、膨大な資料を作成したり、対馬まで脚を運んだり、SNSで発信したりと、大変精力的に活動されていますが、その原動力は何ですか？

A

2017年7月まで、私は福岡市で産婦人科医院を開業していましたが、高齢のため34年続けた医院を閉じ、郷里の富士町下無津呂地区に帰ってきました。戻ってきてまず驚いたのは、子どもの姿が見られないことでした。私が北山小学校に通っていた昭和28年ごろには小・中学校合わせて800人くらいいましたが、今では58人に減ってしまいました。このままでは人口減少は加速し、1500年以上も前から私たちを守ってくれていた天皇家ゆかりの「淀姫神社」、「乳母神社」も荒廃してしまいます。そこで私は、長年の産科開業医としての経験を活かして、郷里の少子高齢化の歯止めをかけ、地元の活性化をお手伝いしようと考えました。



③5 学校開設当時から
の児童生徒数の推移

Q この活動が少子高齢化の歯止めになるというのは、どういうことですか？

A

「乳母神社」に祀られている玉依姫は、日本で最初の乳母であり、安産と育児の神様です。私は、「乳母」の役割が何であったかを学ぶことにより、お産が安全になり、少子化に歯止めがかかることも期待できると考えています。「乳母」の役割は、さきほども言ったように、母乳の不足を補うということでした。母乳を不足させないことは、赤ちゃんの低血糖や重症黄疸を防ぐのに、とても効果的です。これを、一人でも多くの人に知ってもらうことが、私の使命です。富士町栗並地区にある「子安神社」は豊玉姫の夫である山幸彦の母(コノハナサクヤビメ)と祖父(大山祇神)を祀った神社です。昔から「子安神社」は安産の神様として知られ、子安神社の腹帯を妊婦がお腹に巻くと安産になると言われています。近くにある夫婦石は良縁のシンボルという言い伝えがあります。また、富士町下無津呂の「乳母神社」、神武天皇の妻、奈留多姫(なるたひめ)を祀った糸島の「産宮神社」^{③7}も安産祈願の神社であることから、富士町北山と糸島間はかつて安産街道であったと推察されます。これを活かして、私たちは今、「安産大学」という安産と育児の研修ツアーを企画しています。



③6 乳母神社(佐賀北山) 祭神
玉依姫命(神武天皇の母親)



③7 産宮神社(糸島 波多江) 祭神
奈留多姫命(神武天皇の妻)

Q 「安産大学」について教えてください。どんなことを学ぶんですか？

A キーワードは、「歴史に学ぶ『乳母と産湯』」です。私は、「乳母」や「産湯」というものが、古い習慣ではなく、科学的にみて非常に道理にかなったものだと、古い習慣であることを証明するため、開業医時代に膨大なデータをとりました。私は厳しく体温を管理する麻酔科から医師として出発したので、産婦人科に入局したとき、生まれたばかりの赤ちゃんを見て「赤ちゃんは寒さに震えている！」と直感したんです。赤ちゃんは38度の子宮内から、25度前後の分娩室に出てくるのですから、無理ありません。それで、最初の2時間、赤ちゃんを34度に温めた保育器に入れてあげたところ、顔色が良くなり、両目を開け、指しゃぶりを始めました。これは、食欲があり、胃腸が正常に働いているというサインです。寒い部屋に置かれた赤ちゃんは、血流が悪くなり、胃腸も正常に働かないため、与えたミルクや糖水を吐いてしまいます。こうしたことから、「産湯」というのは、赤ちゃんの体を温め、低体温症を防ぐ役割があったということがわかります。

Q 「乳母」の役割は、玉依姫のお話で伺ったように「母乳の不足を補うこと」ですね？ 母乳が不足すると、どうなるんですか？

A 赤ちゃんを産んだばかりのお母さんは、初産であっても経産婦さんで

それは、早くみなさんに知らせなければいけませんね。安産大学は、いつから始まりますか。

「乳母神社」で見つかった玉依姫の銅鏡を、対馬「和多都美神社」と富士町北山「乳母神社」の両宮司がご覧になりました。そして、「和多都美神社」(祀神豊玉姫)と「乳母神社」(祀神玉依姫)が姉妹関係であることを確認され、2019年11月10日、両神社が姉妹関係を結ぶ調印式^④が行われました。ここから始まる、と思っています。この始まりを告げるファンファーレとして、対馬、佐賀、糸島で『安産太鼓』を響かせるといふプロジェクトもスタートしました。対馬の対馬太鼓、佐賀の佐賀大和太鼓、糸島の二丈太鼓は全国で活躍している一流の太鼓会です。地元富士町にも太鼓の保存会があります。「子安神社」がある栗並地区の太鼓保存会は、その名も『夫婦石太鼓』保存会です。太鼓の音は、赤ちゃんがお母さんのおなかの中で最初に聞く音、お母さんの心臓の鼓動に近いと言われています。だからこそ、太鼓の音は人の心をこんなに揺さぶるので、プロジェクトは動き出しました。安産大学のスタートにより、少子化に歯止めをかけ、対馬、佐賀、糸島が元気になることを心から願っています。そして、神武天皇の故郷であるこの地から、この活動が日本全国へ波紋のように広がっていくことを、願ってやみません。



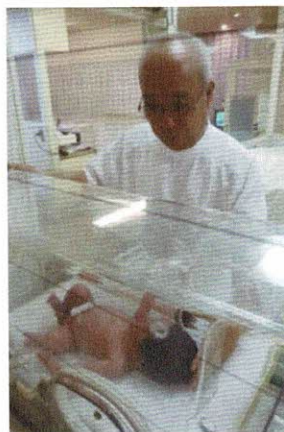
③ 覚書 対馬の和多都美神社と北山の乳母神社・淀姫神社は姉妹関係



④ 調印式での太鼓演奏

新生児温め黄疸防ぐ 福岡の医院、発症率低減

共同通信社
2013年9月11日(水)配信



多くの新生児が発症し、重症化すると脳に障害を与える黄疸(おうだん)を防ぐため、福岡市中央区の久保田産婦人科麻酔科医院が、産後すぐに温度の高い保育器に入れ、さらに糖水を与える「温めるケア」を開発した。新生児1万人に実施し、従来の発症率より大幅に低減できたとしている。15日の福岡産科婦人科学会で発表する。治療が必要な重症黄疸の発症率は、関西のある総合病院の新生児集中治療室(NICU)では所属医師によると21.0%(715人中150人)。全国的な統計はないが、複数の医師は「病院によって異なり、5~20%だろう」と話す。一方、久保田医院は1万783人中、発症は22人(0.2%)だった。久保田史郎(くぼた・しろう)院長は、新生児が38度の母親の体内から20度台の部屋に出てくると体温が急激に2~3度低下することに注目。これを低体温症と判断し、出産1分後に34度の保育器に1時間、次に30度の保育器に1時間入れてから母親に渡す方法をとった。さらに、生後間もなく糖水を与えて体重低下と低血糖を抑えると、ほとんどの新生児が12時間以内に排便し、黄疸の原因物質ビリルビンを排出した。この方式には批判もあり、福岡県内のベテラン助産師(51)などは「体重2500グラム未満の低出生体重児だけでなく、健康な赤ちゃんも保育器に入れるのは過剰なケアだ」と指摘する。それでも久保田院長は「低体温症を防ぎ、栄養補給して黄疸を防ぐことが先決」と話している。

久保田式的新生児管理法

“温めるケア”を日本中の赤ちゃんに!

寒い分娩室に生まれた出生直後の赤ちゃんを34度に温められた保育器内に2時間収容すると、生後1時間目から糖水を上手に飲み始めます。初期嘔吐もなく、顔色はピンク、チアノーゼも出ません。当院の「温めるケア」は発達障害の危険因子である低血糖症・重症黄疸・飢餓(脱水+低栄養)・頭蓋内出血を、ほぼ完全に防ぎます。昔の「産湯」と「乳母」は、赤ちゃんを低体温・低栄養から守り、病気を防いでいたのです。佐賀から、世界の赤ちゃんがより健康になるために“温めるケア”運動をスタートします。



保育器内(34度)で糖水を上手に飲む生後1時間の赤ちゃん
出生直後の低体温と低血糖を防ぐのが新生児管理の基本(久保田式)



予防医学

神々に支えられる古代ロマンの里

神武天皇は佐賀市富士町北山のお生まれか

対馬

伊都志摩

産宮神社

祭神 奈留多姫命
玉依姫命

和多都美神社

安産祈願

産・宮・乳・母
—安産街道—

北山

乳母神社

祭神 玉依姫命

予防医学の神様

二代目綏靖天皇の母
神武天皇の妻

初代 神武天皇の母
日本で最初の乳母

久保田式の“温めるケア”を
日本中の赤ちゃんに！

歴史に学ぶ
「産湯」と「乳母」

発達障害は
生後3日間で決まる

昔は「産湯」と「乳母」で
発達障害を防いでいた

発達障害の原因

高インスリン血症
胎児糖尿病 (1/6人)

低体温

低栄養

低血糖症・重症黄疸・脱水

安産大学

安産と育児の研修ツアー

講師 久保田 史郎

主催：佐賀県 翼の会(会長 江口 英子)
後援：佐賀市食生活改善推進協議会
佐賀県一輪車協会
佐賀県レクリエーション協会

① 温めるケア

② 低体温症を防ぐ

③ 超早期混合栄養法の確立

生後3日間
糖水・人工ミルクを飲ませる！

④ 低体温症・栄養不足を防ぐ

久保田史郎

経歴

昭和20年3月12日(佐賀市富士町北山下無津呂堂園生まれ)
1963年佐賀県立唐津東高卒、
1970年東邦大学医学部卒、同年九大麻醉科入局、
1972年麻醉科退局、九大産婦人科に入局
1983 福岡市平尾に久保田産婦人科麻酔科医院を開業
1989年 医学博士に
2017年 同院閉院
2017年 佐賀市富士町北山下無津呂に久保田生命科学研究所を開設、
執筆の傍ら、久保田式の「発達障害の予防策」の講演活動を行う。

資格

- ◎医学博士、
- ◎日本産科婦人科学会専門医、
- ◎麻酔科標榜医、・(元)日本超音波医学会認定超音波専門医

主な研究

- ◎環境温度が児の体温・呼吸循環・血糖・消化管機能に及ぼす影響
- ◎発達障害の原因と予防に関する研究
- ◎重症黄疸の原因と予防に関する研究
- ◎乳幼児突然死症候群(SIDS)の原因と予防
- ◎妊婦の栄養と運動が母・児の体重に及ぼす影響
- ◎水中散歩が妊娠高血圧症を防ぐメカニズムに関する研究

著書

- ◎「THE OSAN」—安産と予防医学—(自費出版)、
 - ◎カンガルーケアと完全母乳で赤ちゃんが危ない(小学館)
 - ◎妊婦と赤ちゃんに学んだ冷え性と熱中症の科学(日本図書)
- 論文、学会発表、社会活動は「久保田生命科学研究所」のHPに掲載



皇居前にて

論文(2018~2020)

『福岡医学雑誌』第111巻 第1号(2020年3月25日発行)
出生早期の新生児における体温及び栄養管理が体重減少と黄疸発現に及ぼす影響
久保田史郎、財津格嘉、吉原達也

Nutrients 2019 Mar; 11(3): 592.

Growth Patterns of Neonates Treated with Thermal Control in Neutral Environment and Nutrition Regulation to Meet Basal Metabolism
Shiro Kubota, Masayoshi Zaitu Tatsuya Yoshihara

Neonatology 2018;114:348–354

Optimal Thermal Control with Sufficient Nutrition May Reduce the Incidence of Neonatal Jaundice by Preventing Body-Weight Loss Among Non-Low Birth Weight Infants Not Admitted to Neonatal Intensive Care Unit

Masayoshi Zaitu, Tatsuya Yoshihara Hiromitsu Nakai Shiro Kubota

あとがきにかえて…

「北山の『乳母神社』で、玉依姫の鏡が見つかった。初代天皇は富士町で生まれたのかもしれない」という情報を受け、富士町広報誌に記事を書けるため、私は久保田先生にお話を伺いに行きました。これが、先生との出会いです。先生は、乳母神社について、玉依姫や豊玉姫について、ご自身の研究とのつながりについて、これからの希望について、目をきらきらさせながら、話してくださいました。

先生の熱い想いが伝染したのでしょうか。私も、このことをたくさんの方々に知っていただきたい、と強く思うようになりました。神武天皇が富士町でお生まれになったという晴れがましいニュースだけではありません。「乳母と産湯」の役割、栄養管理と体温管理の大切さは、先生が産科医開業以来、根気強く収集してきた膨大なデータにもとづくものです。これが広く知られていないのは、あまりにももったいないと思ったのです。

ですから、この本の作成に関われたことは、私の大きな喜びです。ひとりでも多くの方が手に取ってくださいますようにと、心から願っています。

聞き手 恵良 五月

佐賀北山の非加熱天然水

天使の希水



神水川上流

水中に融解している酸素のことを溶存酸素(DO)と呼びます。DOは魚・植物の生存、水の自浄作用に不可欠です。溶存酸素濃度が高いほど水は美味しく長持ちします。水の良し悪しは、水中に溶けている酸素の量が多いか、少ないかで決まります。

*Delicious
Healthy
Safety*

Doctor of Medicine
S-kubota

株式会社 風
電話：0952-57-2005
住所：佐賀市富士町北山下無津呂1559
<https://www.tenshino-kisui.com/>



神武天皇は佐賀北山で生まれたのか
歴史に学ぶ～乳母と産湯～

発行日 2020年2月23日 初版第一刷発行

著者 久保田 史郎
取材・編集 恵良 五月
デザイン 矢野 貴昭 (vielen dank!)
発行 久保田生命科学研究所 (代表 久保田史郎)
〒840-0535
佐賀市富士町北山下無津呂1559
e-mail: kubotahp@gmail.com
HP: <http://www.s-kubota.net/>



佐賀市富士町北山下無津呂